

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 107

March 2022

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35

TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



SDGs と協同組合

一般社団法人 日本協同組合連携機構 (JCA)



CONTENTS

県生協連と県行政との懇談会	2
県生協連2021年度役員視察研修を実施	3
県生協連主催 第32回スポーツ交流会（ボウリング大会）を開催	4

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた	5
日田市民生活協同組合	7
グリーンコープ生活協同組合おおいた	8
大分県学校生活協同組合	9
大分大 大学生生活協同組合	10
大分県職員消費生活協同組合	11
大分県労働者総合生活協同組合	12
大分県労働者医療生活協同組合	13
大分県医療生活協同組合	14
大分県福祉生活協同組合	15

県生協連と県行政との懇談会



県生協連役員と県行政との懇談会が、2022年1月27日(木)大分市のアートホテル大分で開催されました。

当日は、新型コロナウイルス対策を十分行いながらの開催となり、消費生活・男女共同参画プラザの佐藤誠一郎所長、浜田洋一補佐、首藤英樹主幹の3名が出席し、県議会で県生協連の世話役である玉田輝義県議の出席をいただき、県生協連は青木博範会長理事をはじめ12名の理事・監事・職員が参加しました。

この懇談会は、県生協連が県へ予算要望書を提出し、県の回答書を受けた後、生協と行政との相互理解を深め、連携していくための意見交換の場として毎年開催されています。

【要望事項と回答の概要】

1. 新型コロナウイルス感染症及び被害に対する支援
 - ①医療機関や福祉施設への財政支援等の継続・強化を全国知事会を通じて政府へ要請し、県独自の補助金も実施しており、継続する。
 - ②経済的な困窮者への減免制度等に努力していく。
 - ③PCR検査体制の充実とワクチン接種の推進に努める。
 - ④保健所の機能強化を実施中、引き続き努力していく。
 - ⑤感染者・家族への差別対策や風評被害対策に取り組む。
 - ⑥コロナ関連の消費者被害防止にむけ広報・啓発を実施。
2. 消費者行政の充実・強化
 - ①消費者行政予算の確保に向け努力していく。
 - ②第4次大分県消費者基本計画に沿って実施する。
 - ③消費生活相談員の確保と資質の向上のため、養成講座や研修事業の実施、処遇改善に向けて会計年度任用職員制度の趣旨を踏まえ市町村へ働きかけていく。
 - ④ライフステージに応じた消費者教育を推進しており、成年年齢下げによる消費者被害防止にも取り組む。
 - ⑤プラスチック資源循環促進法に基づき具体的に取り組む、不法投棄の防止に引き続き取り組む。
 - ⑥大分県消費者問題ネットワークへは法令周知の普及・啓発、研修事業の委託を継続し連携して取り組む。
3. 食の安全・安心、食品ロス削減の推進
 - ①第5次県食品安全行動計画に基づき推進する。
 - ②全市業者がHACCPを導入できるよう支援する。
 - ③第3期県食育推進計画に基づき取り組みを推進する。
 - ④県の食品ロス削減推進内容の啓発に取り組む。
 - ⑤県内食料自給率向上に向け地産地消等に取り組む。
 - ⑥種子法に代わる県の要綱等整備し体制を維持する。
4. 生活協同組合の育成・強化
 消費者行政として生協を消費者団体の中核と位置付け、消費者教育推進、消費者被害防止の具体的取組を連携しており、今後も連携を深めていきたい。

出席者

大分県生活環境部

所長	佐藤誠一郎	消費生活・男女共同参画プラザ
補佐	浜田洋一	〃
主幹	首藤英樹	〃 消費生活班

大分県議会議員

県議	玉田輝義	県生協連会世話役
----	------	----------

大分県生活協同組合連合会

会長理事	青木博範	生協コープおおいた理事長
専務理事	河原伸明	員外
理事	後藤哲也	日田市民生協専務理事
	日隈健一	グリーンコープおおいた専務理事
	高瀬宏一	大分県学校生協専務理事
	三重野修次	大分県高校生協専務理事
	磯崎修治	大分大学生協専務理事
	政丸佐智夫	大分県職員消費生協専務理事
監事	首藤俊一	自治労大分信販生協専務理事
	田辺修	大分県医療生協専務理事
	萩原潤	グリーコープおおいた常務理事
事務局	関谷綾女	大分県生活協同組合連合会職員

5. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び対策
 県防災会議や災害対策ネットワーク会議等で取り組み、県民安全安心メールや防災アプリ等の活用を推進する。
6. 生活困窮者支援、子育て支援、医療費助成制度の拡充
 - ①生活困窮世帯への支援は、生活福祉資金の貸与等細かな支援策を実施中、今後、周知と活用を促す。「大分県ひとり親と困難な生活環境にある子どもの支援計画」に基づき取り組む。
 - ②「おおいた子ども食堂ネットワーク連絡会」を県内13ブロックで開催し、関係機関と連携を推進中、「子ども食堂」新規開設の団体等へ市町村と連携して助成中。
 - ③給付型奨学金や就学・学習制度の拡充を全国知事会を通じて政府へ要請する。県立高校授業料は「高校等就学支援金」により、年収約910万円未満世帯は無償化、私立高校授業料は国の支援金制度の拡充により、年収590万円世帯は実質無償化、年収590～910万円未満は県独自に生徒1人月額1万円上限に減免している。
 - ④多世代で交流できる居場所づくりへの助成金は、令和2年度より立ち上げや拠点整備等に対し支援を実施中。空き家の利活用は、国が市町村へ「空き家対策総合支援事業」あり、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用し空き家改修やイベント開催が可能。
 - ⑤子ども医療費助成の外来通院の中学生までの拡大は、県の上乗せで16市町村が中学生まで通院医療費を助成、大分市・別府市は住民税非課税世帯を対象に助成中。

県生協連2021年度役員視察研修を実施

県生協連の2020年度役員視察研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止しましたが、2021年度は東日本大震災から10年目の節目を踏まえ、県生協連が「復興祈念植樹」をした福島県新地町を中心に実施することとしました。ただ直前まで新型コロナの感染状況を踏まえ実施の是非を検討しましたが、大分県と福島県とも「蔓延防止措置」が解除されたことを踏まえ、2022年3月11日(金)～13日(日)、理事6名、職員1名の7名（青木会長理事、河原専務理事、後藤理事、日隈理事、高瀬理事、政丸理事、関谷職員）で参加しました。

11日は、飛行機と新幹線を乗り継いで15時過ぎに福島駅に到着し、小型バスで「新地町役場」に向け出発。当日は3.11の集会に岸田総理の出席があつて混雑していましたが、福島市から山越えて約1時間強、16時30分過ぎに到着、町長と懇談しました。その席上、コープおおいたが10年前に植樹した小学校の梅が大きな実をつけ、先生達はその実で手作りした「梅酒」をいただきました。その後、県生協連が100本の梅の木を植樹した「釣師防災緑地公園」を視察した後、相馬市の「晴風荘」に宿泊しました。ここは内海の傍であり、3.11当時は2階まで浸水、5階に避難し全員無事でしたが、大きな被害が出たようです。

12日は、宿舎から松川浦大橋～大洲松川ラインを経由し、福島県唯一の震災遺構である浪江町「請戸小学校」を視察、ここは外海から300mしかなく、3.11当日は2階建て校舎の2階部分まで津波が押し寄せ、1階部分の残骸は当時のままに保存されており、津波の激しさと被害の甚大さが生々しく感じられました。幸い児童も先生も無事避難できたようですが、不安と寒さの中での避難状況が克明に記録されていました。

その後、2年前に双葉町に開館した「東日本大震災・原子力災害伝承館」を視察、施設内は、大型ビジョンや最新の機器が配備され、3.11の地震～津波の状況、原子力発電所の水素爆発の原因、放射能漏れと避難指示の交錯、対応と混乱が時系列で示されるとともに、被災した方々の写真パネルがありましたが、改めて被災者の悲しさや苦しみ、憤りを感じさせられました。

その後、相馬市、伊達市を経由し福島市飯坂町のJA共済「摺上亭大鳥」に宿泊しました。

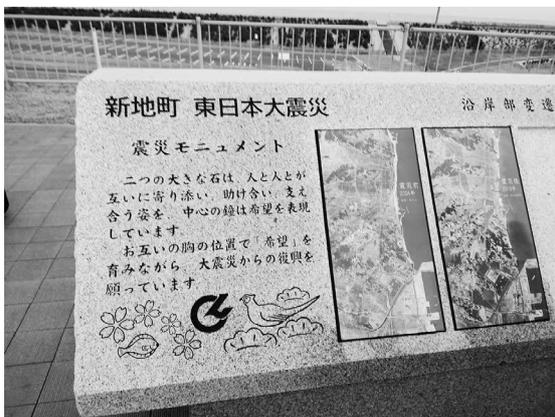
13日は、ホテルから福島駅へ、新幹線、飛行機を乗り継ぎ、全員無事に大分へ帰りました。



新地町役場 町長との懇談



新地町役場前 町長と参加者



植樹の丘モニュメント



植樹の丘



豊後梅植樹の前にて



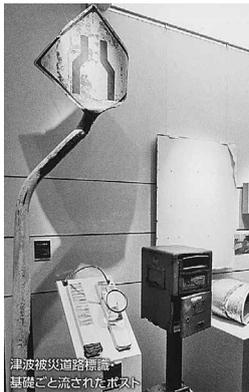
請戸小学校震災遺構にて



請戸小学校



請戸小学校被害写真



東日本大震災・原子力災害（伝承館）

県生協連主催 第32回スポーツ交流会(ボウリング大会)を開催

県生協連は、会員生協間の交流を深めることを目的にスポーツ交流会を毎年開催していますが、2017年度よりそれまでのミニバレーボール大会から、誰でも参加できる競技としてボウリング大会に変更しました。

参加者や会員生協から好評であり、2021年度も第32回スポーツ交流会はボウリング大会を継続することとし、2021年11月20日(出)に大分市明野 OBS ボウルでコロナ感染対策を講じながら人数を縮小して開催、11会員生協から50名が参加しました。

受付で全員に飲物と参加賞を配布し、河原県連専務理事の開会あいさつ、始球式の後、競技を開始しました。

競技は一人2ゲーム合計点の個人戦で行い、優勝は県医療生協の吉光友一郎さんが初優勝し、2位は日田市民生協の戸澤みち子さん、3位はコープおおいたの藤井涼さん、4位はコープおおいたの朝倉国雄さん、5位は学校生協の河野弘一さん、10位以下は5飛び賞とブービー賞、特別賞(32位)で15人が入賞しました。

表彰式は、司会の萩原組織委員(県連監事)より入賞者が発表されましたが、昨年に続きコロナ感染対策のため各生協の代表等10数人にとどめたため、会場は盛り上がりには欠けましたが、参加者からは「コロナ禍の中で楽しく交流させてもらいました、来年も是非開催してほしい」との声をいただきました。

TOPICS

生活協同組合コープおおいた①

子育て講演会 まとめ

日時：2021年11月30日(火) 10:00～12:00

参加者：会場参加…15名 Zoom参加…26名

第一部 「何回言ったらわかるの？」は卒業!～子どもに伝える・届く・響く言葉かけ方法～

講師：モンテッソーリ講師 共育コンシェルジュ 吉田 由花 様

第二部 親子で《できた!》を増やす魔法の片付け術～おもちゃのお家を作ろう～

講師：整理収納アドバイザー 整理収納・お掃除サービス「トトノエル」

代表 高橋 隆代 様

2年ぶりとなる子育て講演会をコロナ禍の状況をふまえ、会場とオンライン両方で参加できるよう開催し、合計で41名の子育て中のお母さんが参加しました。

第一部の講師、吉田さんのお話では、「できない」から「無意識でできる」ようになるまでの子どもとの向き合い方や言葉かけ方法、否定ではなく肯定的（ポジティブ）な言葉かけをすること、感覚的な言葉かけをしないこと等、子ども目線で考えることの大切さを学びました。

第二部の講師、高橋さんからは、子どもに「片付け」に苦手意識をもたせないような言葉かけ方法や、モノを集めることから始まり、選び、収納場所や方法を決めるところまでのポイントについて学びました。普段から悩むことの多い「子どもへの言葉かけ」や「片付け」について、ヒントになるお話が盛りだくさんで有意義な時間を過ごしました。



70周年記念ロゴお披露目式

大分県内の大学に在籍する学生を対象として記念ロゴのアイデアを募集しました。40名の応募作品の中から、70周年企画検討委員会内で選考し、朝見愛梨さん（別府大学2年生）の作品を大賞としました。

大賞を受賞した朝見さんは、「80周年も、90周年もみなさんとお祝いできるようにロゴに思いを込めました。これからもずっと、みなさんと一緒に歩んでいければと思います。」と挨拶しました。

このロゴは2022年度末までイベントや広報誌などに幅広く使用します。



オンライン産地交流会～大分製紙(株)コアノンロール編～

●開催日時：2022年2月5日(土) 10:30～11:40

●参加者：22組（オンライン開催）

●講師：大分製紙(株)豊前工場 工場長 田北信之氏

第2回目となるオンライン産地交流会をコアノンロールでおなじみ大分製紙(株)豊前工場とつなぎ開催しました。

「リサイクル率100%のコアノンロールはどうやってつくられているの？」

再生紙をリサイクルする溶解・インクの洗浄から加工、梱包まで実際の工場見学では見ることができない部分まで動画で見学しました。

他にも洗浄した水を微生物の力できれいな水に変える工程やコアノンスマイルスクールプロジェクトについて学びました。なかでも、○×クイズは大盛り上がりで楽しく学ぶことができました。



生活協同組合コープおおいた②

「包括連携に関する協定」を締結しました。

生活協同組合コープおおいたは、津久見市、九重町、宇佐市、竹田市と包括連携協定を締結しました。コープおおいたとしては大分県を含め、津久見市が11例目、九重町が12例目、宇佐市が13例目、竹田市が14例目となります。今後もコープおおいたは地域社会の一員としての役割と責任を果たすため、多様化する暮らしに対応する事業展開とともに、行政や自治体、各分野の関係団体と連携して大分県の発展に寄与してまいります。

◆津久見市と生活協同組合コープおおいたとの包括連携協定締結項目

- ① 地域の見守り・声かけに関すること。
- ② 健康づくりに関すること。
- ③ 高齢者及び障がい者の雇用に関すること。
- ④ 子育て支援に関すること。
- ⑤ 防災と災害時の支援に関すること。
- ⑥ 環境保全に関すること。
- ⑦ 市産品、農林水産物及び加工品の販路拡大に関すること。
- ⑧ 観光振興に関すること。
- ⑨ 市政の情報発信に関すること。
- ⑩ 買い物支援に関すること。
- ⑪ その他地域住民サービスの向上及び地域社会の活性化に関すること。



◆九重町と生活協同組合コープおおいたとの包括連携協定締結項目

- ① 地域の見守り・声かけに関すること。
- ② 健康づくりに関すること。
- ③ 子育て支援に関すること。
- ④ 防災と災害時の支援に関すること。
- ⑤ 町産品、農林水産物および加工品の販路拡大に関すること。
- ⑥ 環境保全に関すること。
- ⑦ 買い物支援に関すること。
- ⑧ その他地域住民サービスの向上および地域社会の活性化に関すること。



◆宇佐市と生活協同組合コープおおいたとの包括的連携に関する協定項目

- ① 地域の見守り・声かけに関すること
- ② 健康づくりに関すること
- ③ 子育て支援に関すること
- ④ 防災と災害時の支援に関すること
- ⑤ 環境保全に関すること
- ⑥ 市産品、農林水産物及び加工品の販路拡大に関すること
- ⑦ 観光振興に関すること
- ⑧ 芸術・文化・スポーツの振興に関すること
- ⑨ 買い物支援に関すること
- ⑩ その他地域住民サービスの向上及び地域社会の活性化に関すること



◆竹田市と生活協同組合コープおおいたとの包括的連携に関する協定項目

- ① 地域の見守り・声かけに関すること
- ② 健康づくりに関すること
- ③ 子育て支援に関すること
- ④ 防災と災害時の支援に関すること
- ⑤ 市産品、農林水産物および加工品の販路拡大に関すること
- ⑥ 買い物支援に関すること
- ⑦ 環境保全の取り組みに関すること
- ⑧ その他地域住民サービスの向上及び地域社会の活性化に関すること



包括連携協定 締結済の地域

大分県・大分市・杵築市・豊後大野市・臼杵市・日田市・由布市・別府市・津久見市・宇佐市・竹田市・日出町・玖珠町・九重町

TOPICS

日田市民生活協同組合

主な活動紹介



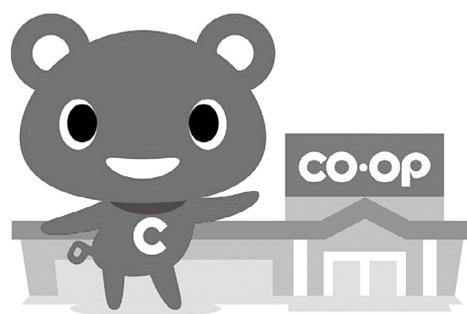
お買物無料送迎サービス

日々の買い物にご不便を感じている組合員さんに対して2020年8月に開始した生協店舗への無料送迎サービスですが、現在2拠点、約80名の登録者に対して、週5日・毎日5便の運行を行っています。少子高齢化などの影響もあり利用者は増加傾向にあります。

たすけあい共済

2003年7月より取り扱いを開始いたしました「たすけあい共済」の保有件数も2021年5,200件を突破いたしました。

一昨年よりコロナ禍にあつて推進活動の制約はございますが目標数値の達成と共に、ここ最近では新型コロナによるご請求も増加し、いよいよ給付のための共済の意味を実感しております。



環境保全マイバッグ持参運動

1991年より取り組みを開始した『マイバック運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、昨年2021年は年間を通じ88%を達成いたしました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

グリーンコープ生協おおいたは朝食支援を行っています！

グリーンコープ生協おおいたは2015年より里親制度の広報活動に取り組んでおり、2021年度より大分県の子どもの朝食支援事業の配送業務をグリーンコープ生協おおいたが受託し、食材はグリーンコープ共同体のフードサポートより提供いただき、すすめられる運びとなりました。支援先に何ってきた様子を報告します。

①利用する子どもの数は 1人～67人

②形態は 毎日～週1回 バイキング形式や固定食

③子どもたちが好きな食べもの

パン類 ジュース類 ヨーグルト類 チーズ類 バナナ びん牛乳 カフェミルク
ハム・ソーセージ類 冷凍チャーハン類 チキンナゲット フリーズドライスープ類など

④朝食支援を始めて子どもたちに変化はありましたか？

- ・いつも遅刻している子が朝食支援のある日は早く登校する。
- ・欠席の多い子が朝食支援のある日は学校に来るようになった。
- ・生まれて初めて朝食を食べた子がいて毎回楽しみにしている。
- ・子ども間で会話があってコミュニティができた。
- ・居場所で声をかけ朝食支援の日に来るように促すと食べた後に学校に行くようになった。
- ・表情が明るくなった。落ち着きがでてきた。元気になった。よく喋るようになった。

⑤担い手は 学校の教員、教頭先生、地域の子ども食堂でボランティアをされている方々



子どもと一緒に配膳

グリーンコープ生協おおいたは子育て応援に取り組んでいます！

グリーンコープ生協おおいたは子育て応援に取り組んでおり、2021年度は100円基金の助成を受け、6センターで子育て応援企画を開催しました。各会場で有意義な講演会や上映会を行い、子育てのヒントに役立つと大変好評でした。その様子を報告します。



日田 足を育てるお話の様子

【日田】足を育てるお話

- ・足は身体の土台であり、足の歪みが体に及ぼす影響は大きい。合わない靴を履きカラダの不調を抱えている現状が多くある。とお話いただきました。

【県北】「さとにきたらええやん」映画上映会

- ・大阪市西成区釜ヶ崎の「こどもの里」を舞台にしたこの映画は、その地域で奮闘する子どもや大人の生活が描かれ、人と人との関わり大切さを強く感じさせてくれました。

【別府】フッ素ってどんなもの？

- ・フッ素について長年研究が続けられている歯科医の方に体への影響など詳しくお話しいただきました。子どものフッ化物洗口も保護者がしっかりと学び選択する必要性を感じる学習会でした。

【大分西】子どもとインターネット 情報社会を歩く子どもたち～大人の役割とは～

- ・情報通信技術の発達により、子どもたちを取巻く環境も大きく変わりました。大人も子どももその良し悪しをきちんと知った上で活用すること。ネットトラブル等の対応を知っておくことが大切だと感じました。

【県南】「知る」「つながる」「感謝」～しらしんけん学校給食40年～

- ・40年栄養教諭として給食を見続けてきた方のお話は、何より子どもたちのためにという姿勢にあふれ感動しました。食べたものが自分を作っていることを改めて感じ、とても考えさせられました。

【大分東】子どものやる気を引き出す「ほめた達！」の極意！

- ・～あなたの周りには、ダイヤの原石がいっぱい！～と題し、お話しいただきました。「ほめる」ためには 相手のいい所を見つける心の目を磨いておくこと。参加者との対話形式のレクチャーもあり、自分の事として考え学ぶ良い時間となりました。

大分県学校生活協同組合

学校生協・高生協・教職員共済共催 退職を見通したライフプランセミナーを開催しました

毎年好評の「退職を見通したライフプランセミナー」を12月18日(土)に別府豊泉荘で開催いたしました。今年も新型コロナウイルス感染防止を鑑み感染対策を施した中、時間短縮で実施をし、当日は79名の参加がありました。

初めに学校生協の高瀬専務理事、続いて主催者代表として教職員共済大分県事業所の横道所長の挨拶で開会し、まずセミナー①では「気になる！退職後の働き方と社会保険」と題して、講師の教職員共済エリア担当アドバイザーの岡本和子さんより、公的年金制度や、医療、介護保険、退職後に向けて今から準備すべきこと等の内容で、大分県の教職員の状況を踏まえた具体例の資料をもとに非常にわかりやすい講演が行われました。

続いて指定店・日本トリムさんが健康促進の一助として商品の案内を行った後、セミナー②では、「健康人生リフォーム」と題し、住友林業ホームテック株式会社大分営業所所長の山本武志さんが、住まいの断熱性能と健康との関わりや、木質化の効能について講演いただきました。最後に高校生協の三重野専務理事より閉会の挨拶があり盛会のうちに終了しました。



講師の岡本和子さん



講師の山本武志さん

5位入賞！ 大分県生協連合会主催 第32回スポーツ交流会 ボウリング大会

11月20日(土)大分県生活協同組合連合会主催のボウリング大会がOBS ボウルにて開催されました。

昨年に続きコロナ禍ではありますが、密を避けての開催となりました。大分県内より12の生協から51名が参加しました。

始球式の後、ゲームがスタートしました。豪快にピンのはじける音が一斉に場内に響きわたると、ストライクやそうでない方も、もはや定番となった肘タッチやグータッチで静かに盛り上がりました。

結果は学校生協より参加した河野弘一さんが見事5位入賞となりました。後日、賞状と記念品が生協連より送られてきました♪来年こそは、コロナを気にせず開催できればいいなあ。



賞状と記念品が届きました



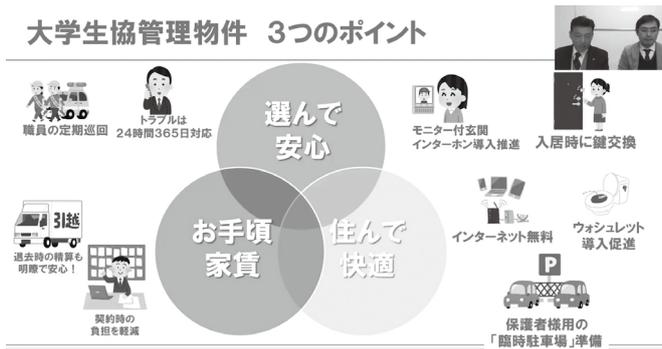
5位入賞 河野 弘一さん (中央)

大分大学生生活協同組合

大分大学生協では新入生の入学準備をお手伝いするために様々な取り組みを行っています。

合格前予約説明会

大学入学後一人暮らしを予定されている前期入試受験者と保護者を対象に合格前でもアパートの予約ができる「合格前予約」とその説明会を実施しています。コロナウイルス感染防止のため、説明会はWeb上で行いました。説明会では合格前予約の方法や大分大学周辺の住宅環境を紹介しています。



【Web 説明会の様子】

前期入試時の取り組み

前期入試の前日・当日にはお部屋見学会と合格前予約の受付を行っています。こちらもコロナ感染防止のため大学への入構制限がされているため、大学外にある旦那原ハイツ公民館をお借りし実施しました。前日・当日合わせて約90名の新入生・保護者の方が訪れ、お部屋の見学や合格前予約をされています。



【公民館で合格前予約受付】

サポートセンターでの入学準備サポート

前期入試合格発表後の3月6日～3月末には食堂にて新入生サポートセンターを開設し、個別に大学入学準備をサポートしています。サポートセンターで接客するのは現役の大分大学生スタッフ。実際に大分大学で過ごしている自身の経験をもとに新入生や保護者にアドバイスをしながら新生活に向けてのお手伝いをしています。



【サポートセンター学生スタッフ】

大分県職員消費生活協同組合

「合格祈願米・諸願成就米」 限定販売

受験シーズンを前に12月から「合格祈願米」の販売を始めました。3年目の取り組みです。国東市の文殊仙寺で祈願した祈願米は国東市内の生産者が減農薬・有機肥料で特別に栽培した「つや姫」です。300g(約2合)入りで1,000円(税込)。

今回新たに無病息災や商売繁盛などの「諸願成就米」も販売。価格は同一です。



ご利益が逃げないように
丈夫な七島蘭でしっかり結んでいます

大分刑務所刑務作業作成の第2弾「めじろん」製品販売

ピンズやストラップなどに続き、「めじろんだるま」張り子製品を受託販売しています。廃棄予定の紙を再利用し、地球にやさしい製品です。めじろんの張り子(だるま)で起き上がり小法師となっており、「めじろん」の目の表情により2バージョンあります。価格は180円(税込)です。

何度でも何度でも起き上がります。



廃棄予定の紙を再利用し、地球にやさしい製品です。

アイネスパープルリボンプロジェクト2021に協力しています!

毎年11月12日~25日の2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定められ、全国で女性に対する暴力根絶のための啓発活動が行われます。



パープルリボン
女性に対する暴力根絶のシンボル

大分県でもパープルリボンにちなみ「アイネスパープルリボンプロジェクト2021」と題し、街頭啓発や啓発物の設置・配布、ランドマークなどのパープルライトアップに取り組みます。また、大分駅構内のデジタルサイネージやYouTube、SNS等で、啓発動画の放映も予定されています。大分県職員消費生活協同組合でもこのプロジェクトに協力しています。女性に対する暴力について考え、暴力を許さない社会づくりを進めましょう!

大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

- 下記の分譲地にて建築条件付宅地を販売中です。
 詳細はフリーダイヤルまでお問い合わせください。
 ◇別府市「新別府」(分譲地4区画・分譲住宅1戸)
 ◇大分市津守(分譲地1区画・分譲住宅1戸)
 ◇大分市横尾(分譲地9区画) 2022年6月完成販売予定

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なりフォームを扱っています。
 組合員様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅事業部 0120-557-887

旅行センターについて

旅行センターは「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿った旅行手配をおこなうことで、組合員の皆様へ安全、安心な旅行サービスの提供に努めております。ご旅行や組合行事などをご検討の際は、お気軽にご相談下さい。

【新規団体旅行紹介キャンペーン】

- 対象団体：旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行
 ※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。
 対象期間：2022年6月1日～2023年5月31日までに出発の団体
 対象条件：15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行
 (貸切バス・航空機・JRなど交通機関のついた団体旅行)
 プレゼント：15名様以上のご紹介の場合
 紹介者様、旅行幹事様それぞれに5,000円のギフト券をプレゼント
 ※15名様ごとにそれぞれ5,000円のギフト券を追加で進呈します。
 (例)35名様の場合 紹介者様、旅行幹事様へ各10,000円のギフト券

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

- ・昼間(8時～18時) 40分 100円 昼間最大 800円
- ・夜間(18時～8時) 60分 100円 夜間最大 500円

【お得なプリペイドカード】

- ・10,000円券を7,400円で販売
 - ・5,000円券を4,300円で販売
- *おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。
 ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。



大分県勤労者医療生活協同組合

「虹のバレンタイン行動」

コロナ禍3年目、毎年行っていた活動の「囲碁大会」「グランドゴルフ大会」「バスハイク」「ミニバレー大会」も2年連続で中止となりました。今年こそはすべての活動を再開させたいと願っているところに、新型コロナウイルスのオミクロン株の蔓延で辟易としているところです。

そんな中、2月は「虹のバレンタイン行動」を行いました。医療生協の取り組みを知っていただくために、全国の医療生協で取り組んでいるものです。当生協でも病院窓口で利用者様にカードを添えてチョコレートをお渡ししました。

このバレンタインに「チョコレートを渡す」というイベントは、日本独自の文化で、花束や手紙を送る国や、男性から女性に贈り物をするのが一般的な国もあるそうです。国によって文化の違いが表れるイベントのようです。いずれにしても誰かを想う気持ちを伝えるという点では万国共通のようですね。



常勤医師のご紹介

大分協和病院

内科・循環器内科 副院長 後藤 幸枝 医師

○診察日

一般外来：水・金（PM）・土
循環器外来：月（AM）・金（AM）

◆認定資格等

日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本医師会認定産業医
医学博士

令和4年1月から大分協和病院に着任しました、後藤 幸枝と申します。内科・循環器内科の診療を担当致します。高血圧・高尿酸血症・脂質異常症・糖尿病などの異常が見つかったら、患者さまの満足を目指し、適切な診療を行って参ります。また高齢化により、心疾患の患者さまが増えています。当院では胸部レントゲン撮影・心電図検査・心臓超音波検査等を実施し、原因を探り、より良い治療を行って参ります。よろしくお願ひします。

血圧や脈拍の異常、息切れ、胸痛などの症状がありましたら、当院へご相談ください。当院では、胸部レントゲン撮影・心電図・心臓超音波検査などで心臓病の原因を調べます。その他にも内科的にご心配なことがありましたら、可能な限りご相談をお受けいたします。



大分県勤労者医療生活協同組合 大分協和病院

〒870-1133 大分市大字宮崎953番地の1

TEL：097-568-2333 FAX：097-568-0795

URL：<http://oitakyowa-hp.org/index.html>



大分県医療生活協同組合

子ども食堂を継続開催

班会・会議などの組合員活動は自粛しましたが子ども食堂は継続して開催。県から提供された非常食を来場者に配布するなど食料支援にも取り組みました。



別保子ども食堂



大分県提供の非常食も配布

“集まる”ってやっぱり楽しい！～各地でウォークイベントを開催

生協活動の魅力である“集まること”が制約を受ける中ですが、感染状況が落ち着いた10月～11月に安全に開催できる行事として5か所でウォークイベントを実施しました。合計120名が参加し、好天の下、健康づくりを楽しみました。



竹田支部久住高原ウォーク



組合員と職員が活動交流 ～いのちの章典実践交流会

『いのちとくらしを守り健康をはくぐむ』ことを目的に日本医療福祉生協連では『いのちの章典』を掲げ、事業所で、地域で安全・安心の医療と介護、そして助け合いの活動の実践を進めています。11月と12月に2回、組合員と職員が日頃の活動を交流し、共同のとりくみを前進させる目的で『いのちの章典実践交流研修会』を開催しました（合計で組合員・職員49名が参加）。



より連携し・共同を深めるために

大分県福祉生活協同組合

第14回ニコニコ杯グランドゴルフ大会開催

組合員の健康増進活動の一環として、大分県福祉生活協同組合では地域のグランドゴルフ協会の皆様と協力して『ニコニコグランド大会』を開催しております。今年も新型コロナウイルスの感染状況を踏まえての開催となりましたが、県内の感染者数も落ち着いている状況もあり無事開催する事が出来ました。(2021年12月4日 土曜日)

寒風の中ではありましたが、160名を超える方に参加いただき、一打一打真剣な眼差しでゲームに挑まれていました。



写真：豊後大野市千歳町柴山グラウンド場

健康教室(健康講話)活動

地域住民や組合員の皆様の健康増進活動で年間10回、健康にまつわる講話を開催しております。今年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止が続いたため年4回の開催となりましたが、歯科衛生士による『歯(義歯)の手入れの仕方や口腔体操』、ケアマネージャーによる『介護保険料と介護保険制度の説明』やデイサービス職員による『介護予防体操、楽しむ脳トレレクレーション』などの毎回違った種類の健康教室を開催いたしました。



歯科衛生士講話



ケアマネジャー講話



デイサービス講話

2021年度第3回理事会議事録

1. 日時 2021年11月17日(水) 15時30分～16時45分
 2. 会場 大分市中央町 ソレイユ3階「水仙」
 3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中1名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

- (1)県生協連活動の報告
 9月21日 日生協九州地連第2回運営委員会(オンライン)
 10月1日 県労福協ニュース161号編集会議
 10月4日 2022年度大分県予算及び行政執行に関する要望書提出
 10月6日 県消費者問題ネットワーク第3回理事会
 10月7日 県協同組合協議会第2回事務局会議
 10月8日 2021年版「おいたの生協」の発行
 10月20日 「県連だより106号」の発行
 10月22日 地球温暖化対策おいたの市民会議第2回講座担当者会議
 10月27日 九州農政局と県内消費者団体の意見交換

- 11月4日 大分市水素利活用シンポジウム
 11月4日 県労福協第3回理事会
 11月5日 生活協同組合くまもと創立100周年記念式典
 11月8日 第2回大分県消費者団体連絡協議会
 11月11日 県協同組合協議会地域貢献活動(海岸清掃)

<審議事項>

- (1)大分県行政との懇談会の開催について
 (2)第27回大分県生協大会(役職員研修会)開催について
 (3)2021年度県生協連役員研修の実施について

<協議事項>

- (1)地域消費者フォーラムin佐伯への参加について

<その他>

- (1)2021年度損益計算書(2021年4月～10月)
 (2)当面の取り組み日程

2021年度第4回理事会議事録

1. 日時 2022年1月27日(木) 14時30分～15時45分
 2. 会場 大分市都町 アートホテル2階会議室
 3. 出席者 理事総数13名中11名出席、監事総数2名中1名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

- (1)県生協連活動の報告
 11月18日 日生協九州地連大規模災害対策連絡会(オンライン)
 11月20日 県生協連第31回スポーツ交流会(ボウリング大会)
 11月22日 地球温暖化対策おいたの市民会議第1回普及啓発部会
 11月24日 2021年度九州ブロック生協・行政合同会議(オンライン)
 12月1日 日生協九州地連第3回運営委員会・活動推進会議(オンライン)
 12月2日 県労福協情報紙162号編集会議

- 12月3日 県生協連第2回組織委員会
 12月8日 県消費者問題ネットワーク第4回理事会
 1月4日 県消団連県知事挨拶及びフォーラム事前会議
 1月18日 令和3年度大分県消費者フォーラムin佐伯(中止)
 1月25日 県労福協第4回理事会

<審議事項>

- (1)県生協連2021年度決算見込みと下期会費について
 (2)第27回大分県生協大会(役職員研修会)の開催について
 (3)県生協連2021年度役員研修の確認について

<その他>

- (1)2021年度損益計算書(2021年4月～12月)
 (2)当面の取り組み日程

2021年度第5回理事会議事録

1. 日時 2022年3月8日(火) 13時00分～14時07分
 2. 会場 大分市中央町 ソレイユ3階「水仙」
 3. 出席者 理事総数13名中11名出席、監事総数2名中2名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

- (1)県生協連活動の報告
 1月27日 大分県行政との懇談会
 1月29日 大分市地球温暖化対策講座(中止)
 2月1日 県労福協情報紙第163号編集会議(河原)
 2月2日 第4回九州地連運営委員会・県連活動推進会議
 2月4日 行動組合協議会職員交流セミナー
 2月9日 県消費者問題ネットワーク第5回理事会
 2月14日 第2回地球温暖化対策おいたの市民会議(書面)
 2月19日 県労福協2021年度福祉研修会(中止)
 2月24日 第2回県社協ボランティア・市民活動C運営委員会

- 2月25日 第27回大分県生協大会(役職員研修会)(中止)
 3月4日 第3回大分県消費者団体連絡協議会

<審議事項>

- (1)県生協連第69回通常総会の議案関係について
 (2)県生協連役員推薦委員会の委員の選任について

<協議事項>

- (1)県生協連役員視察研修の実施について
 (2)県消費者問題ネットワーク第16回定期総会への出席について

<その他>

- (1)2021年度損益計算書(2021年4月～2022年2月)
 (2)当面の取り組み日程
 (3)会員生協総代会日程及び年間スケジュール